

## 流通におけるデータ化と IT システムにおける管理

- ・ すべての流通における製品データと顧客データの I T システムにおける管理は、その最効率化を実現する。オンタイムにおける製品の流通は、社内システムの整備とともに、その効率性と正確な環境を整備する。

## 人材育成と社員教育環境の整備

- ・ 人材育成はそのビジネススキルと市場認識を育成し、企業の経営の健全性を要求する。これら社員の育成は、計り知れない企業への利益を提供することを明確に認識し、すべての社員における高いレベルにおける企業経営を実現できるのである。

## 生産効率基準の制定

- ・ 企業における基準の整備は、その基準における企業構築を可能とできるのである。そのため見える化した基準の周知は、高いレベルにおける企業経営への転換を可能とする。

## 社員への理解の育成と共有

- ・ 社内における社員意識の向上は、企業の向上そのものであり、リーダーにおける社員意識の育成は、企業の高い向上性を現実化できるのである。

## 企業の創造性の要求

- ・ 創造性は、作業と製品サービス、市場への高い理解を基盤とし、独自意見を現実化することであり、理解の未熟さは、誤りを生むのである。これらは独創性は、高い理解の表れであり、これらの許容を企業が自ら率先することで、創造性を社会に育成できるのである。

## 書類の IT 化と作製環境

- ・ すべての書類のデータ化は、その共有制と書類作成における I T システムにおけるフレームワークの整備において、企業内における標準化を求められる。

## 企業の数値化と見える化

- ・ 企業経営におけるデータ管理と分析における経営への移行は、すべてのデータ整備を分析における異形の経営環境を整備する必要性を求める。

## アウトソーシングの活用

- ・ コストと品質基準をクリアすることにおいて、アウトソーシングの活用における企業のスリム化を提案したい。

## 企業の可能な限り IT 化を実現する

- ・ 企業の I T 化は、標準化した企業システムにおける管理運用における効率化を提案したい。

## フレックスな就業環境の構築

- ・ 企業における効率性と創造性の要求へ就業システムと環境のフレックス化を提案したい。

## オフィスと生産環境の改善

- ・ 優れた就業環境の整備は高い就業意欲を可能とできることにおいて、オフィス革命を企業に実現することを提案したい。

## 新しい品質基準をインダストリー4.0とともに構築する

- ・ インダストリー4.0における工作機器における高い品質基準は、新たな企業内における品質基準と管理を整備し、その受け入れとともに、新しい生産システムの構築を可能とできるはずであり、コスト比における生産性の向上における受け入れを提案したい。

## 開発における大学連携基盤の構築

- ・ 開発における世界の先端研究データや基準の明確に認識と、共同開発における企業の技術基盤の向上を大学連携における可能において新たに提案したい。

## 最も高い効率基準における企業のシステム化

- ・ システム化は共有の生産性と企業倫理性の連続を企業が実現することであり、この考査と考察は、企業の基幹性を創造することにおいて、企業システムの総括をITシステムとともに実現することは高い効率性の向上を企業が実現できることであり、その明確な理解と計画を要求されるものである。

## 企業利益の健全性の構築

- ・ 企業利益の健全性は、コスト比における利益率、企業の高い生産性、健全な企業経営の結果であり、企業転換はこれら基準とともに実現する必要性を有するはずである。

## マーケティングの数値化と市場アクセスの見える化

- ・ 市場の数値化と見える化は、企業経営計画の作成の基盤であり、データ解析における企業経営への転換の必要性は現実における変化とともにその必要性を提示するのである。

## 間接部門における高い生産性の要求

- ・ 間接部門における高い生産性と甲乙性の要求は、システム化と部署における新規運営基準を整備し、その高い生産性への移行を提案するものである。

## 無理無駄を省いた企業のシンプル化

- ・ シンプル化は必ず効率化であり、無理と無駄を省いた企業経営の実現は、企業の優れた自己環境を整備できるものである。

## 説明と理解の共有、合意形成

- ・ 社内における高い理解の育成は、企業レベルの向上における企業の新たな可能性の創出を実現できるものです。

## 全ての議題における理解の共有

- ・ 会議における理解基盤の共有は、新たな可能性の創出を、参加者における議題資料の詳細

記載において、高い議論を明確に会議において要求する。

#### 見える化におけるチームにおける理解の共有

- ・ 全ての社内環境の見える化は、社内における共有性の構築基盤における新たな企業の飛躍を実現できると考えます。